

第71回国民体育大会「2016希望郷いわて国体」第8日は8日、岩手県各地で競技が行われた。青森県勢は陸上の成年男子400m障害で岸本鷹幸(富士通)が優勝。少年女子B800mの山口光(青森高)は6位に入った。ボウリング少年男子個人の中村優也(大畑中)が4位に輝いた。

レスリングは準々決勝に臨んだ5選手がい

# 2016 希望郷 いわて 国体

第8日

ずれも敗れて5位に。自転車は少年男子ポイントレースの山本真寛(工大一高)と女子スクラッチの清水知美(八戸学院大)がそろって8位入賞。成年男子スクラッチの三浦康嵩(吉田産業)は惜しくも9位だった。

アーチェリーは団体で成年の男女と少年女子が8位。ボートのシングルスカルで3選手が9日の決勝進出を決めた。(取材班)

**場**  
▽成年男子ポイントレース決勝(3万) ①岡本(和歌山・日大) ②富尾(鹿兒島・鹿屋体大) ③渡辺(岐阜・朝日大) ④三浦康嵩(吉田産業) ⑤少年男子ポイントレース決勝

▽同ケイリン決勝 ①寺崎浩平(福井・福井県連盟) 11秒3.1 ②黒枝(大分・鹿屋体大) ③小林(福岡・明大) (2位以下は計測せず)  
▽同スクラッチ決勝 ①小林泰正(群馬・日体大) ②青野(川・法大) ③橋本(岐阜・NIPPORACING PROJECT) ④三浦康嵩(吉田産業) ⑤少年男子ポイントレース決勝

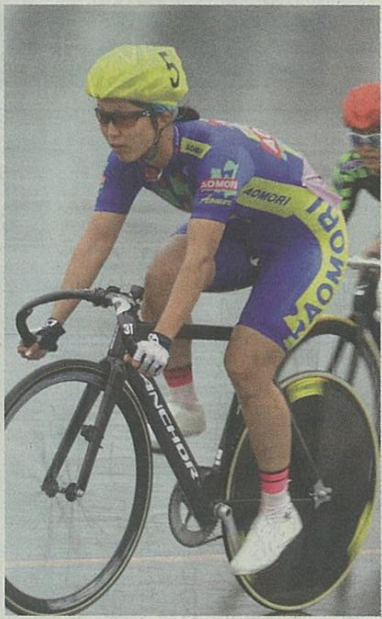
(2万4000) ①佐藤健(熊本・九州学院高) 25点 ②大町(鹿島・安芸府中高) 12点 ③奥村(奈良・榊生昇陽高) 11点 ④山本真寛(八戸工大一高) 7点  
▽同ケイリン決勝 ①東矢圭吾(熊本・千原台高) 11秒8.0 ②脇本(福井・科技術高) ③福永(大阪・城東工科高) (2位以下は計測せず)  
▽同スクラッチ決勝 ①吉岡衛

少年男子ポイントレース

山本(工大一高)

女子スクラッチ

清水(八学大) 8位



【自転車女子スクラッチ決勝】8位入賞した清水知美(八戸学院大)

▽同スクラッチ決勝 ①吉岡衛(奈良・奈良北高)の根本(福島・学芸石川高) ③依田(山梨・甲府工高)  
▽女子ケイリン7.12位決定戦 ②大和久保美(日本競輪選手会) ③塚越(鹿兒島・CIEL BLEU KANOYA) (2位以下は計測せず)  
▽同ケイリン決勝 ①児玉碧衣(福岡・日本競輪選手会) 12秒6.6 ②中嶋(長野・日本競輪選手会) ③清水知美(八戸学院大)  
▽皇后杯得点 ①福岡42 ②鹿兒島37 ③東京36 ④京都32 ⑤福井27 ⑥福島25 ⑦千葉17 ⑧長野17

結果で恩返しできた  
○：少年男子ポイントレースの山本真寛(工大一高3年)は8位となり、トラックレースでは初の全国入賞を果たした。「高校最後のトラックレースでいい結果を出せて良かった」と笑顔だった。  
第3周回では、流れに乗って先頭を走り、1着通過で5点を獲得。後半の第10周回では、前方の選手を追い掛けるように走り、3着で2点を取った。得点のタイミングを逃さず、点を重ねて入賞にこぎ着けた。「青森県代表」として出場する国体。自転車関係者

ただでなく、家族や学校の友人などたくさんの方が応援してくれた。山本は「簡単に負けることはできないと感じていた。結果で恩返しできたかな」  
「奇跡」の入賞  
○：女子スクラッチ決勝は雨の中のレース。清水知美(八戸学院大)は終盤に落車した前方の選手をよけ切れず、自身も転倒するアクシデントに見舞われた。幸い大きなけがはなく、レースに復帰して見事8位に入り込んだ。「奇跡でした」と、まさかの入賞を喜んだ。

元スピードスケート選手で現在38歳。会社勤めを経て、2014年に大学入学したのを機に自転車を始めた。短距離が得意で、「落車したことで変な緊張感が吹き飛んだ。復帰したときは残りが少なかったので、一気にタッシュをかけた」と持ち味のスピードを生かして勝負に出た。

アクシデントさえも味方に付けた清水は「本当にラッキーだった。入賞できて良かった」と笑顔をみせた。

「奇跡」の入賞  
○：女子スクラッチ決勝は雨の中のレース。清水知美(八戸学院大)は終盤に落車した前方の選手をよけ切れず、自身も転倒するアクシデントに見舞われた。幸い大きなけがはなく、レースに復帰して見事8位に入り込んだ。「奇跡でした」と、まさかの入賞を喜んだ。

